

会報

No. 14

1987. 11. 30 発行

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL (075) 771-0069

長岡京市立図書館

長岡京市が昭和六十年から進めている「新総合計画」は、緑豊かな自然と心ふれあう長岡京をモットーとした個性ある快適でゆとりあるまちづくりです。

図書館は、その一環としての文化ゾーンの中に位置づけられ、生涯教育の充実、心豊かな人づくりをめざして、さる十一月三日誕生しました。

新館紹介

この図書館では、一階が成人開架スペースで、福祉・暮らしのコーナー、リスニングコーナー、イメージコーナー（美術書・展覧会図録・写真集・デザイン集など）、友好都市コーナーなどを設けていささか型破りの図書の配置を試みている。

二階は児童開架スペースで、お話コーナーや絵本のコーナーを設ける一方、児童書のグレイド別配置をして図書利用のしやすさに工夫をしている。また、図書館はその事業として、「子どものひろば」や「子どもの本を読む会」を毎月一回開催して心豊かな人づくりへの道を市民ともども模索している。

三階には教育センターが並置されているが、大会議室、書庫、和室があり、図書館事業や市民の読書活動の場としてその活用が注目されている。

る。

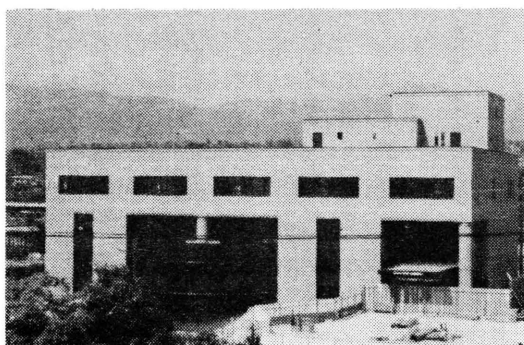
図書館資料（電算化）及び建設概要は次のとおり。

一般書 三〇、〇〇〇冊
児童書 一九、〇〇〇冊
点字本 六〇〇冊
リスニング資料 四〇〇点

建築面積 約一、〇四六平方メートル
延床面積 約二、八〇一平方メートル

一階 九八一平方メートル
二階 八八四平方メートル
三階 八八二平方メートル
塔屋 五四平方メートル

教育センター 約三五六平方メートル
（所在地 長岡京市天神四丁目一一）



第二回理事會報告

今年度二回目の理事会が十月二十二日、府立図書館で開催され、要望書の提出について協議されました。

まず「図書館振興に関する要望書」等については、図書館に関してその役割、生涯学習における重要性について認識されるようになってきていることから、今年度も府知事と教育長には要望書を、府立図書館長、府立総合資料館長、市町村教育委員会連合会長、府内市町村長・教育長には依頼書をそれぞれ提出することになりました。

特に今年度は、昨年八月以来府社会教育委員会に於て審議されている「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」について、一定のまとめが出される予定であるので、それに関する事項として、京都府知事に対しては、「まとめ」に即して、早急に実施計画を策定されるように、京都府教育長に対しては、実施計画の策定にさいして、市町村図書館の振興について具体的に盛り込まれるように、府立図書館長に対しては、市町村図書館の活動への援助が出来るような府立図書館の整備が図れるように、それぞれ要望・依頼することになりました。

京都市伏見中央図書館

新館紹介

さる八月二十九日、京都市南部における中核図書館として、本格的な規模と機能をもつ伏見中央図書館がオープンしました。その所在地は、伏見区今町六五九番地の一（伏見区役所の東隣）です。

規模は、敷地面積一七〇九平方メートル、鉄骨造り二階建、床面積一〇三三平方メートルで、一階は玄関ホールと図書四万冊を収納できる書庫、二階は、幼児・児童・成人コーナーの図書六万冊を開架できる五三二平方メートルの図書室と、対面朗読室、事務室、電算室などとなっています。

幼児・児童図書、一般図書、専門図書それぞれ一万二千冊、参考図書、郷土資料四千冊の計四万冊をそろえてスタートしました。今後、十万冊を目標に整備を進める計画です。

体のご不自由な方への在宅貸出、巡回貸出、マイクロフィルムの設置を除き、「図書貸出の対象」「個人貸出」「体のご不自由な方へのサービス」「参考相談」など、丸太町七本松の京都市中央図書館とおなじサービスをおこなっています。年末年始を除き年中無休で、成人の場合、日曜日、祝日を除き午後八時三十分まで夜間も開館しています。

また、中央図書館とコンピュータで結んでいますので、予約やリクエストが利用しにくいときには、両館での相互検索、相互貸出、相互返却が可能です。

玄関正面と成人閲覧室には、日展等の入選作である彫刻や日本画を飾り、文化の香り高い市民に親しまれる図書館づくりにも工夫をこらしています。

「知るは楽し 本とのであい」が、伏見中央図書館のシンボル標語です。今後とも、皆さん方に信頼される図書館づくりに職員一同努力してまいります。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

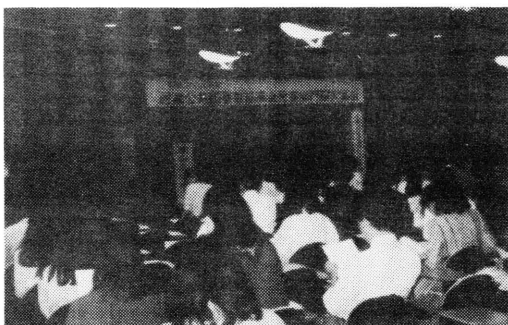


児童部門研究集会 （近公図）に参加して 京都市下京図書館 藤田佳子

滋賀県で開かれた研究集会（十月十六日）に参加させて頂いて、きめ細かいサービスをめざし、熱心に業務に取り組んでおられる図書館員の方々の発表や意見を聞くことができ、日頃仕事を進める上で大変参考になり、また良い刺激を受けました。

私は、太子町立図書館長の「児童レファレンス事例集を作成して」というテーマでの発表を基にした「子どものレファレンスについて」の分科会に参加しましたが、資料として配布されたカード型式の事例集は、レファレンス一件につき参考図書数冊を掲げるなどの緻密な作業が重ねられており、一つ一つのレファレンスを大切にすることを改めて考えさせられました。

発言の中に、本の世界は広く自由であるから、職員も子どもと共に、何物にもとらわれない自由な発想のもとでイマジネーションを働かせ、



子どもの持っている疑問、質問から、さらに思考の世界をふくらませられるようなレファレンスをするべきではないか、という意見がありました。が、図書館に求められる本来のレファレンスサービスは、このような考え方でなくてはできないと、感銘を受けました。

また、職員は常に子どもが話しかけやすい雰囲気づくりや、一人一人の持つ疑問を大切に受けとめ、疑問をきっかけに、そこから発展させてそれに関連した本を読むようにしむけていくことが理想、という意見もありましたが、これは、私達が今後努力していくべき一つの課題であると同感しました。

これから私は、子どもたちの本に対する興味を引き出すことにより、本という素晴らしい媒体を通して、少しでも多くの夢と知識を広げてあげることのできる、そして誰からも愛される図書館づくりに努めていきたいと思っています。

（於 滋賀県立図書館）

にゅうす・ニュース・News

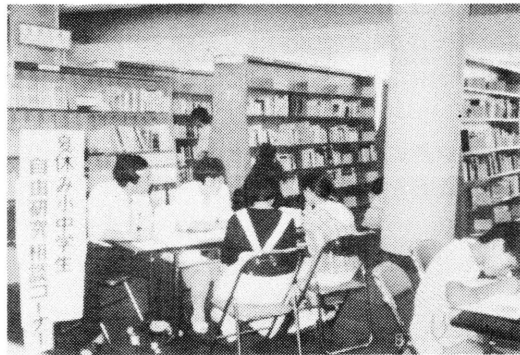
夏休み自由研究相談 コーナー開設

宇治市中央図書館

「採集した植物の名前を調べたいんですが……」「自由研究でカビについてレポートを書きたいので、何か本がありますか」。夏休み自由研究相談コーナーには宿題や自由研究の課題をかかえた子供たちが次々とやってきました。

宇治市中央図書館では夏休み中の児童に対するレファレンスに応じるため、八月十八日から二十一日までの四日間、開架室内に夏休み小・中学生自由研究相談コーナーを開設しました。これは社会教育指導員の先生の協力を得て実施したもので、まず子供たちの質問内容を把握したうえで、それに適した資料を紹介あるいは提供するという方法で行いました。夏休みも後半に入っていたこともあって、質問や相談をする小・中学生の表情も真剣そのもの。質問件数は全部で百二十二件にのぼりました。児童を対象とした取組みでしたが、図書館全体の中でのレファレンスのあり方や利用者と資料を結びつける仕

事の大切さを再認識した四日間でした。



音楽テープの貸出し好評 木津町立図書館

木津町立図書館では、今夏からクラシック音楽と童謡のカセットテープの貸出しを始めました。これは相楽郡ではじめての試みで、読書とともにクラシック音楽も楽しんでもいいと企画されたものです。

タイトルは、よく知られているクラシック曲など六十五タイトルで貸出しを始めましたが、夏休みに入ってから小学校高学年から中学・高校生利用が目立つなど好評で、図書館では、今後はテープを増やしていきたいと話しています。

三十七年の歴史に幕 ―府立図書館伏見分館閉館―

伏見分館は昭和二十五年に伏見信用金庫（南部町）二階で開館。その後同二十九年に瀬戸物町の現在地に移り、今日まで歩んできましたが、京都市伏見中央図書館の開館（本年八月末）を機に三十七年間の歴史に幕を閉じ、去る十月末日で閉館いたしました。

当伏見分館は交通の便がよく、大手筋等の商店街に近く、しかも現在地は南部公園に隣接するという立地に恵まれ、昭和三十九年には貸出サービスを開始、同五十五年には「よみきかせの会」の実施、予約・リクエストサービスの強化等利用者に密着した館運営により、地域の人達に親しまれる図書館として、また京都の南部地域をカバーする図書館として多くの皆様方にご利用、ご支援をいただいていたまいりました。

九月二十九日の「おわかれよみきかせの会」は七十七名というこれまでの最高の参加者で、楽しく、にぎやかなおわかれ会となりました。

そして十月三十日の最終開館日。小雨の中を伏見分館と私達職員のためにわざわざおわかれにかけつけていただいた年配の利用者達のこと、さうなら、ありがとうございました。

姉妹・友好都市を紹介 京都市図書館

京都市の各図書館では、十一月開催の世界歴史都市会議を記念して、京都市と姉妹・友好都市関係にあるパリ・ボストン・キエフ・西安など八都市の紹介コーナーを開設しました。

まず、中央図書館では、十一月一日から二十二日まで、児童図書読書室で、紹介パネル、図書や観光案内書など約六百点を展示したほか、各都市のビデオも放映。また、伏見中央図書館と十一の地域図書館では、十日から毎月一都市ずつ来年六月まで、八都市のパネルや地図・図書などを展示します。



研修研究委員会ニュース

62年度の当委員会は、61年度に決めた運営方針（詳しくは「会報」11号）に従い、(1)研修事業 (2)研究事業 (3)共催事業の実施を目標に活動を進めています。これまでの活動の概要及び今後の予定は以下のとおりです。

1. 研究発表会

6月3日の京図協定期総会終了後、61年度に実施した北部地区主催の研修会報告を、(1)「図書の受入れについて—図書館とマンガ—」と題して福知山市立図書館の橋本館長が発表しました。この他に障害者研究部会より61年度に実施した府下図書館等の実態調査のまとめが、(2)「昭和61年度障害者サービス実態調査」として発表されました。なお障害者サービスの実態については、今年度中にまとめをパンフレットにして発行の予定です。

2. 研修会

(1) 第39回実務研修会（北部地区担当）の実施

テーマ：読み聞かせ等の理論と実技

日時：62年9月25日（金）

場所：舞鶴市立西図書館

講師：藤田周子氏（京都府立図書館）

参加者：30人

（北部地区からの開催要望が強かったテーマであり、講師の熱演もあって大変盛りあがった。）

(2) 今後の予定

① 一泊研修会

61年度未実施であり、今年度中には実施予定。

実施要領は次のとおり（予定）

日時：63年2月4～5日

場所：京都府青年会館

講師：浦安市立図書館長、草津市立図書館長

テーマ：未定

会費：3,000～4,000円

② 実務研修会（北部地区担当）

日時：未定

場所：峰山町立図書館

テーマ：「図書館のP・Rについて」

—講演と事例発表—

3. 研究会

(1) 児童奉仕研究部会（12館15人）

人事異動に伴い、新部長に八幡市民図書館の城戸氏を選出し、「児童書の選書」を研究テーマに講師を招いて研究を深めることとする。（5/12）

第1回目は、枚方市立菅原図書館長の川上博幸氏を講師に、連続3回の研究講座。

① 児童書の選定総論・各論1—絵本—（7/16）

② 児童書の選定各論2—文学作品—（9/18）

③ 児童書の選定各論3—知識の本他—（11/13）

(2) 障害者奉仕研究部会（5館6人）

実態調査のまとめを中心に活動をすすめている。

（5/21, 7/7, 9/11）

(3) 参考事務研究部会（7館16人）

参加各館が、レファレンス事例をもちより、事例回答への手順の基礎研究活動を行っている。

（6/4, 7/2, 10/8）

4. 共催事業

今年度も京庫連との共催で講演会を予定。

日時：12月4日（金）10時～12時30分

場所：京都府立図書館

テーマ：「子どもの言語・感性を育てる」

講師：藤本浩之輔氏（京大助教授教育人間学）

加盟館の異動

京都市伏見中央図書館開設準備室に変わって京都市伏見中央図書館（館長・津村俊勝）が、長岡京市教育委員会図書館準備室に変わって長岡京市立図書館（館長・目釜尚民）がそれぞれ協議会に加盟しました。

〈住所変更 大江町立図書館〉

京都府加佐郡大江町字河守二八五
電話 〇七七三—五六—〇〇二五

近畿地区研究集会日程

★近公図奉仕部門研究集会 大阪府

六十三年二月二十六日

★近公図整理部門研究集会 神戸市

六十三年二月十日

★近公図参考事務研究集会 兵庫県

六十三年一月二十二日

広報委員会だより

◆長岡京市と京都市伏見区に、市民待望の図書館がオープンしました。今後の益々の発展を期待します。また、長い間多くの方々に親しまれてきた府立伏見分館は、十月末で閉館されました。ごくろうさまでした。

◆当協議会では、来年二月に二年半ぶりの一泊研修会を計画しています。多くの方々の参加をお待ちします。

◆本紙に関するご意見や情報をお寄せ下さい。